



多重極限物質科学研究センター
研究発表会

第4回

極限条件下の研究から広がる物質科学

物性研究を基軸とする教育・研究を行い、社会に貢献することが物質理学研究科の目的です。これを達成するために、本研究センターは“一桁上の多重極限条件”を掲げています。

一桁上の極限条件下実験手法を確立し、新奇物性現象の発現と解明を目指す卓越した研究・教育の場を実現し、高いレベルの理学の教育と研究を実践することを目標としています。

今回の研究発表会では、学外から放射光利用研究分野でご活躍されている若手研究者をお招きし、最新の研究成果についてご講演いただきます。さらに、センター所属の博士前期課程2年生が修士論文の進捗状況を報告し、センター全教員による分野を超えた研究指導を行います。

会場 理学部 研究棟 739号室

日時 2015年12月14日(月) 13:10~17:00

プログラム

- | | |
|-----------|--|
| 13:10 | 開会の辞
本間健二 兵庫県立大学大学院 物質理学研究科長 |
| 13:15 | 和達大樹先生 東京大学/物性研究所
招待講演 時間分解X線測定による遷移金属化合物の超高速ダイナミクスの研究 |
| 13:55 | 写真撮影 13:55~14:00 |
| 光物性学分野 | |
| 14:00 | 松下龍樹 半導体単結晶における光誘起過渡格子歪みの研究 |
| 量子物性学分野 | |
| 14:20 | 鶴川絵里 層状Yb化合物の圧縮率異方性および電子状態の変化に関する研究
中村 歩 鉄系超伝導体 (Sr,K)Fe ₂ As ₂ の単結晶育成と物性 |
| 電子物性学分野 | |
| 15:00 | 青山輝慶 カイラル構造を持つNbSi ₂ ,TaSi ₂ の超伝導特性 |
| 15:20 | 休憩 15:20~15:30 |
| 極限状態物性学分野 | |
| 15:30 | 桑山有紀 Ar-O ₂ 二元系の圧力-組成相図と相転移の研究
佐田國富士 Mo ₃ Al ₂ C超伝導体の高圧効果の研究
藤本勇輝 Fe-Ni合金の圧力誘起構造相転移の研究
船曳剛司 15族元素Bi、Sbの超高压X線回折研究 |
| 16:50 | 閉会の辞
小林寿夫 多重極限物質科学研究センター長 |

